

平成 22 年度「対話と実行座談会」ご意見の反映

地域でがんばっているグループや各分野の団体の方々との座談会を 7 回、高校生との座談会を 3 回開催しました。座談会でいただいた皆さまからのご意見と、県政に反映された主なものをご紹介します。

観光

【ご意見】 地域で観光資源としていいものを持っていても、商品として売り込んでいくランドオペレーターがない。ぜひ、行政の方にも協力してもらいたい。

体験型広域観光推進事業費補助金の創設

地域コーディネート組織を通じた体験プログラムの開発・強化や受入態勢の整備等を支援します。

移住促進

【ご意見】 移住はすぐ来て住むというのではなく、ずっと付き合っていく中で、移住を考えている人たちも具体的な住むイメージができるので、そういう環境を整えていくべきだ。

移住促進事業費補助金の拡充

市町村等が行う既存住宅再生によるお試し滞在施設の整備を支援します。

【ご意見】 移住したいが、空き家はあっても住む家をさがす（契約する）のは難しい。移住に関する情報提供や実際の仲介をしてくれる仕組みがほしい。

あったか高知暮らし住宅支援システムの構築

高知県宅地建物取引業協会・全日本不動産協会高知県本部及び市町村と連携し、官民協働で移住希望者向けの空き家情報の掘り起こしと、専門 HP による情報発信を行う仕組みをつくりました。

企業立地

【ご意見】 地元になんか貢献してくれる企業に来てもらいたいので、県としても企業誘致に努力してもらいたい。

企業立地促進事業費補助金の拡充

企業立地補助金制度の抜本的な見直しを行い、企業の設備投資への支援策を充実させました。